

Magazine of
Nakamura
Alternative Life

vol.126
2023.APRIL

CELERY



花
ひ
ら
け。
。



春のメッセージ

令和5年度
入学式

令和4年度
学位記授与式

ナカムラの知の源
食も社会も世界も。

NEWS&TOPICS

ナカムラのひと

春の メッセージ

Message from the president

中村学園大学
中村学園大学短期大学部

学長 久保 千春

Profile

1973年 九州大学医学部卒業
1973年 九州大学医学部心療内科研修医
1975年 九州大学医学部細菌学研究生
1978年 九州大学医学部細菌学助手
1982年 アメリカオクラホマ医学研究所(2年間)
1984年 国立療養所南福岡病院内科医長
1988年 九州大学医学部心療内科助手
1993年 九州大学医学部心身医学教授

2000年 九州大学大学院医学研究院
心身医学教授
2008年 九州大学病院長(6年間)
2014年 国際医療福祉大学副学長(半年間)
2014年 九州大学総長(2020年9月/6年間)
2020年 中村学園大学・中村学園大学短期大学部
学長 就任

新たな段階に入った 新型コロナウイルス感染症

国内で新型コロナウイルス感染症が確認されて3年余り。今春、新型コロナウイルスは感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行し、新たな段階を迎えます。

初期の頃は死亡率が高く行動制限も課せられ、皆が緊張感を持って感染に注意していました。コロナ禍に対応して授業はオンラインに。本学では入学時にWi-Fi環境下になくてもインターネット接続が可能なLTE付きノートパソコンを無償貸与するなど、オンライン授業にも対応できる環境整備を進めてきたこともあり、比較的スムーズに事が運んだと思います。とはいえ、教員も学生も慣れるまではいろいろと大変な思いをしたのは間違いありません。今では、オンラインと対面のハイブリッド型授業を展開できるようになりました。

コロナ禍の初めの頃、本学では週に一度対策会議を開き、学内の感染者状況を確認し国や県のコロナ情報とも照らし合わせながら、細かい注意点を教職員や学生にアナウンスしていました。若い学生は重症化する可能性はあまりないのですが、職員などについては心配でした。マスクの着用、手洗いや手指の消毒、三密を避けるといった基本的感染対策を徹底し現在に至っております。幸いなことに重篤な感染者はでておりません。

警戒心を忘れることなく 自分でよく考えて判断を

新型コロナウイルスが5類になると原則的に

行動制限はなくなります。それゆえに自分でよく考えて判断し責任を持って行動することが重要になってきます。屋外での制限はほとんどなくなりますが、室内や密になる環境下では当分の間マスクの着用が必要な場合も多いでしょう。基本的な対策を心がけて状況を見ていけば、加減も分かってくると思います。

長期に渡るコロナ禍のしわ寄せは、特に若者と社会的弱者にいつていると感じています。対面でコミュニケーションする機会が乏しくなり、友達や先輩に相談する機会も減って、孤立を深めている若者もいるようです。社会全体で若者や社会的弱者をサポートするシステムを充実させていかなければならないと考えております。

学生運動が盛んな時期に 多くの学びが

私は1966年に九州大学医学部に進学しました。医師を目指した理由は、高校3年生の時に慢性腎炎を患い、自分でこの病気を治したいと思ったからです。大学入学後は地元・鹿児島を離れ、福岡市内の親戚の家に下宿し、減塩など食事療法を続けながら学業に励みました。当時は東大の安田講堂事件をはじめ全国的に学生運動が激化していた時代。九大も例外ではなく、1969年には学生が建物を占拠してストライキが開始され、医学部も約半年間、授業がありませんでした。平日は毎日、クラスの仲間と社会や医療のあり方、日本の政治について討論を繰り広げ、またさまざまな本も読みました。



令和5年度 入学式

春光きらめく4月3日(月)、平成5年度の入学式が執り行われました。それぞれに夢を抱きナカムラの門をくぐった新入生たちは、皆、晴れやかな表情で式典に臨んでいました。



新入生代表 コメント

インターンシップでの職業体験を今から楽しみにしています。また大学では行事も楽しみにしています。特に学園祭が待ち遠しいです。これからしっかりと学び、販売士や簿記、MOSの資格も取得し、自分の描く未来につなげる2年間にしたいと思っています。

中村学園大学短期大学部キャリア開発学科を選んだ大きな理由は、社会で活躍するための基本的な知識やスキルを着実に身に付けることができると思ったからです。また、ビジネスに関して幅広いジャンルの科目が開講されていて、今後必要なキャリア形成について学ぶことができ、さまざまな資格取得が可能な点なども魅力的でした。多くの人たちの暮らしに役立つ物売る販売士を目指している私にとって、まさに理想的な場所です。

キャリア開発学科 河北新斗さん
(中村学園三陽高等学校出身)





*Congratulations
on your entrance*



大学生活を
思いやり楽しみたい
と思います!

Wスクールも
楽しみです!

栄養士の免許を取得して
編入学も目指したいです!

在学中に資格をたくさん
取得しようと思っています!



夢に向かって
頑張りたいです。

小学校教諭に
なるために頑張ります!

新しいことにたくさん
挑戦したいです。



ナカムラでの出会い、経験、成長は一生の宝物。何よりも共に高め合ってきた仲間に出会えて本当に幸せな学生生活でした。悩んだ時などに電話をすると、いつも励ましてくれた両親に感謝を伝えたいです。



教育学部
児童幼児教育学科
堤 来夏 さん



教育学部
児童幼児教育学科
米村 知佳 さん

教育学部
児童幼児教育学科
大田 萌華 さん

令和4年度 学位記 授与式

令和5年3月18日(土)、学位記授与式が行われました。新型コロナウイルス対策も新たな段階を迎えた中、卒業生と保護者の方がキャンパス内に集う、華やぎに満ちた祝典の日となりました。



ゼミ活動で唐津Qサバを使ったオリジナルハンバーガーを販売して完売になったことが忘れられません。ナカムラは「食が好き」という気持ちをよりいっそう育ててくれました。卒業後は私の琴線に触れたモノ・コトを大事に、公私共に充実させたいです。

入試広報部でのスチューデントジョブ、プロジェクト活動など、学業以外にもいろんな経験ができて有意義な4年間でした。卒業後はナカムラの大学院へ。学びを深め、難消化性オリゴ糖の生理機能に関する研究に取り組みます！

栄養科学部
栄養科学科
田中 生真 さん



教育学部
児童幼児教育学科
深川 和希 さん



栄養科学部
フード・マネジメント学科
山本 葉月 さん



特に思い出深いのは、和・洋・中と多彩な料理法を学ぶことができた調理実習です。中身の濃い2年間を送ることができたと充実感でいっぱいです。ナカムラでの学びや経験を活かし、より良い食生活をサポートできる栄養士になります。



短期大学部
食物栄養学科
大隈 玲菜 さん

短期大学部
食物栄養学科
篠倉 舞 さん

流通科学部
流通科学科

西村 功太 さん



流通科学部
流通科学科

野田 翔太 さん



卒業後は小児科で看護助手として働きながら看護専門学校に通います。将来は保育士と看護師の資格を活かし、いろんな子どもたちと関わる職に就きたいです。母が他界した後、男手一つで私と弟を育ててくれた父にこれから恩返ししていきます！



コロナ禍においても学外活動や学校生活を通して交友関係が広がり、かけがえのない経験を積むことができました。編入学を応援してくれた両親にとっても感謝しています。編入後はゼミでの研究や資格取得の勉強などに励みたいです。

短期大学部
幼児保育学科
石田 智絵 さん



短期大学部
幼児保育学科
大塚 桃子 さん

短期大学部
幼児保育学科
宮原 琴海 さん

短期大学部
幼児保育学科
荒木 里花 さん

短期大学部
キャリア開発学科
西田 有希菜 さん



短期大学部
キャリア開発学科
林 美鈴 さん

短期大学部
キャリア開発学科
松田 彩音 さん



どんな研究に取り組まれているのですか。

専門分野は教育心理学で、現在は「知識の精緻化による知的好奇心の生起メカニズムの検討」（科学研究費助成事業）という研究を行っています。「知的好奇心」は人間が自発的に学んでいく際の大事な「エンジン」。その好奇心がどのように生まれ、どう高まっていくのか。「知っているから」と知りたくなる」「知識が知識を引き寄せより好奇心が膨らむものではないか、ということ」を学術的に明らかにしようとしているところです。

以前、重点を置いていた研究テーマは「メタ認知」で、特に自己調整学習という、自身の状態を把握し、いかに自らの学習活動を調整して成果を出すかといった、個人内で完結する過程に目を向けていました。そこから知的好奇心にシフトしていったのは、次第に、人は一人では乗り越えられないことも多く、いろいろな人と関わって知的にも人間的にも賢くなるという考えが強くなってきたからです。もう一つの研究の柱に「協同学習」を据え、互いに学び合い、教え合い、高め合う学習法の研究と教育実践に取り組んでいます。実際に学生を見ると、協力しながら相互に成長していきます。その中で重要なのは人間関係を作っていく力とさまざまなことに興味を抱いていく好奇心であることがよく分かります。

私が一連の研究を通して一番学生に伝えたいのは「何かを学ぶことは楽しい。新しい経験をして知らなかった世界が開かれることを楽しもう」ということ。それを子どもたちに伝えられる教員や保育者になってほしいと願っています。

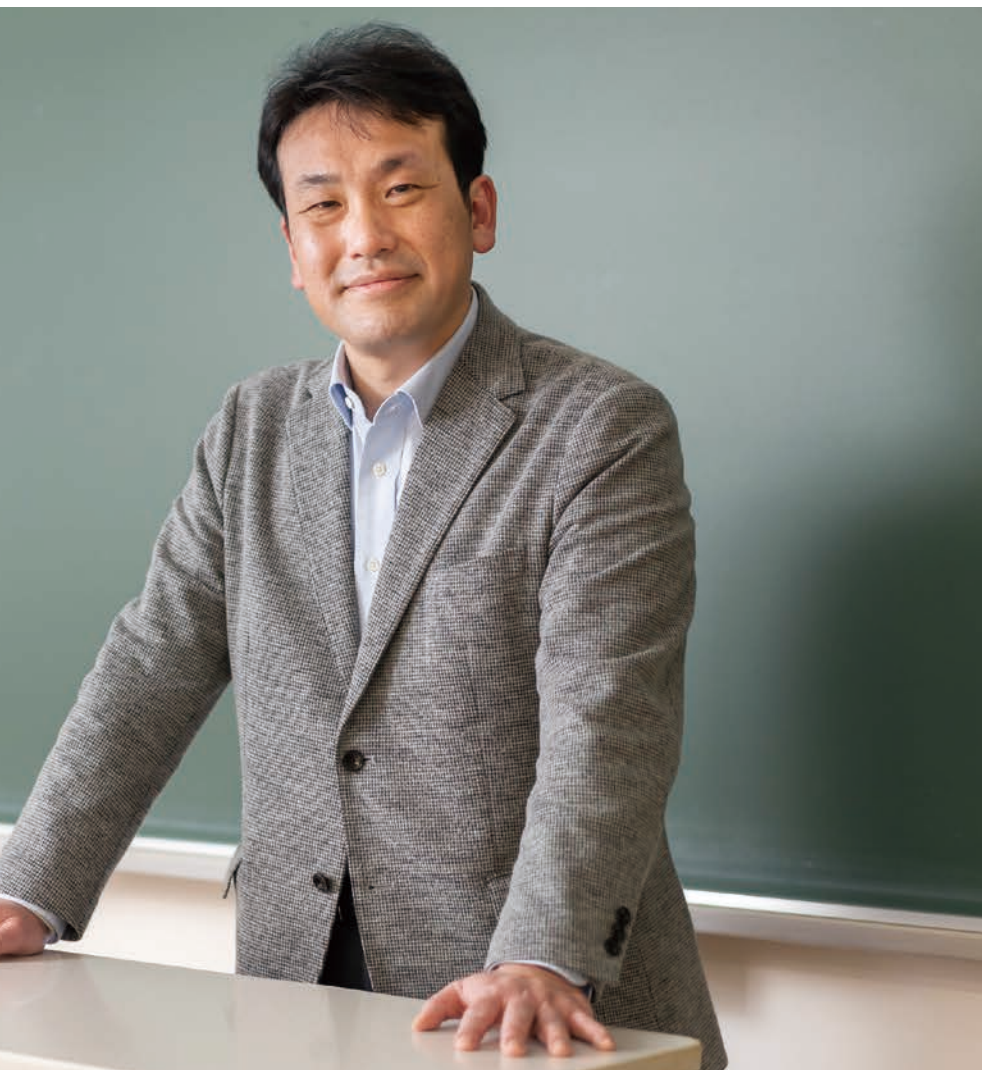
ゼミの活動について教えてください。

いろんな経験が知的好奇心にもつながるので、何にでもチャレンジするのがゼミのモットーです。レシビ「コンテストや読書感想文コンクール

ナカムラの 知の源

Nakamura Source of knowledge

教育学部
児童幼児教育学科
野上俊一
教授



1. 野上ゼミでは、3年次の年度末に太宰府天満宮にて学業達成祈願をした後、霊峰・宝満山（標高829m）に登るのが恒例。励まし合い、助け合いコツコツと進んで、頂上に辿り着いた時の達成感と爽快感を分かち合います。
2. 「高大接続探究学習ワークショップ」は、学生と高校生が一つのテーマについてともに学びを深めるワークショップ。子どもたちの未来をつくる自分達の「学び方」について学ぶ活動をサポートしました。
3. 野上ゼミで読む主な本
『人はいかに学ぶか 日常的認知の世界』（福垣佳世子／波多野 諄余夫 著 中央公論新社）
『修身教授録』（森 信三 著 致知出版社）
『協同学習入門 基本の理解と51の工夫』（杉江 修治 著 ナカニシヤ出版）
『代表的日本人』（内村 鑑三 著 鈴木 範久 訳 岩波書店）



1



2



3

など学内のコンテストには全員に応募を呼びかけます。高大接続探求学習ワークショップなどのイベントも積極的に参加しています。

年に4回、近郊の低山に登るのも恒例行事です。皆で山頂に到達するという目標を共有して、助け合いながらやり遂げる体験は協同学習にも通じるものです。

また、ゼミ生には2年間で1000冊の読書も課しています。読書を通して知識が増えるほど見えてくる世界も違ってくるからです。ここ数年は、哲学者・教育者の森信三（1896-1992）が教育観や教師自身の生き方を説いた『修身教授録』を全員で読み進めながら、どの部分が今の自分に響いたか、それはなぜかなどを話し合っています。修身とは、自分で自分の身を修めること。自己調整するという点でメタ認知にも繋がります。この本を読む中で、自己調整力による個の成長を基本とし、それが備わっている人たちが協力し合えば、社会の諸問題に対してより良い解決策が生まれるという理解を育んでいけたらと思います。

今後の抱負などについてお聞かせください。

「知識の精緻化による知的好奇心の生起メカニズムの検討」の研究にめどをつけ、さらに自分の友達や好きな有名人などが興味持っていることに自分も興味を持つといった社会的な文脈で起こる知的好奇心の研究に発展させていけたらと考えています。

また、これまでも授業の中に、協同学習を取り入れてきましたが、今春からの新カリキュラムでは、3年生の選択科目として「協同学習」を開講します。10年ほど前にアクティブラーニング推進が謳われ始め、対話型の協同学習が注目され数多く取り組まれてきました。今、まさに真価が問われるときなので、しっかりと取り組んでいきたいです。



知識と知識には引力が働き、互いを引き寄せ合う――。

心理学の知見を活かした教育を進める野上俊一教授に、注力している研究やゼミの活動などをお聞きしました。

知的好奇心は学ぶことで高まっていく。

「学ぶことは楽しい」ということを

学生たちに実感してほしい。

Profile

九州大学大学院人間環境学府行動システム専攻博士課程単位取得後退学。博士(心理学)。
2009年中村学園大学人間発達学部(現教育学部)講師として着任、2022年4月より現職。
研究分野は教育心理学。本学では、「教育心理学」「心理学」等担当。

食も社会も世界も。

That makes sense!

今回
教えてくれたのは



栄養科学部 栄養科学科
木村 秀喜 准教授

Profile

新潟大学大学院医歯学総合研究科修了。博士(学術)。労働基準行政を経て下関短期大学栄養健康学科教授。2022年4月より現職。水産庁長官任命「お魚かたりべ」、「唐戸魚食塾」企画員。「唐戸魚食塾」は唐戸市場を拠点にボランティアとして下関の魚食文化の継承や魚食を取り入れた日本型食生活の普及啓発、地元市場の活性化等に取り組んでいる。「水産庁長官感謝状」の他、多くの表彰を受けている。

A. Q.

魚の美味しさにつながる要素は何ですか？

豊かな自然環境や発達した流通、魚を取り巻く方々の熱意、料理を楽しむで食へることなど、多くの要素があります。

まずは環境面です。日本周辺には寒流と暖流がぶつかる場所があり、陸から近い所にも深い海溝があったりと豊かな自然に恵まれています。次に流通が進展し、品質が確保されていること。魚に関する様々な場面に携わる人は熱意を持って取り組んでいます。各地域の特徴を生かした養殖魚も豊富です。日本の料理技術は文化と言つてよいでしょう。そして楽しんで食へること。これらがすべて揃い初めて美味しくいただけるのです。それは肉でも野菜でもお米でも同じです。

A. Q.

最近、魚を美味しくいただくのが難しくなってきたというのは本当ですか？

はい。さんま等の不漁がありますね。不明な点も多いのですが、気候変動や乱獲などが原因で漁獲量が減っています。

海の中でも温暖化が起き、魚の生息域が変わり様々な問題が起きています。また、水害対策で沿岸の河川や海岸線がコンクリートで覆われると、陸の栄養が海に届きません。痩せた海では海藻等も十分に育たず、結果として美味しい魚が減り、魚の流通量、消費量などにも影響が出ます。

現在の消費者は、手間のかからない料理を選びがちです。骨がたぐさある魚の調理をおくくりに感じる人は少なくないでしょう。しかし、簡便な食ばかりを選択していると、食事のバリエーションが減ってしまいます。

テーマ

「社会・環境と美味しい食事」



A. Q.

食に時間と手間をかけられなくなったのはなぜでしょうか。

忙しいことが一因と考えられます。多忙であつても、食は大切にしたいですね。

家族で一緒に食事をする中で、食事の大切さや作法、実践を交えて様々な知識を育みます。便利な調理家電、レトルト食品が増えています。時短優先でなくひと手間かけて作る料理は、出来上がったときの喜びも大きいはず。ライフスタイルが変化しても、食生活を大事にしたいですね。

また、食育基本法、食品ロス削減推進法が施行されるなど、事業者だけでなく、私たち消費者も食に関する正しい知識を身に付け、主体的に行動することが求められています。

A. Q.

これからも美味しく食事をするためにはどのようなことにすればよいのでしょうか？

まずは食について知ること。そして食の時間を確保すること。丁寧に作った料理を楽しみましょう。

美味しい食は、自然の恵みや多くの人の手があつてこそ成り立ちます。一方で、食は生産から廃棄までのすべてで二酸化炭素を排出し、食品ロスを生じさせます。こうした食の環境負荷についても知る必要があります。

そして、食の時間を大切に。忙しい時も食の時間を確保し、一息つきましょ。時間があるときは少し手間をかけた料理を楽しみ、「美味しいね」と笑顔を交わしましょう。「頑張つて〇〇しよう」では続きません。食で笑顔になるために学び、工夫をしましょう。



生産と消費 気候変動 海洋資源 陸上資源

食は環境の恵みと多くの人によって成り立つ。一方で生産から流通、消費、廃棄のすべての段階で環境負荷をもたらしている。

Nakamura × SDGs

本学の取り組みはこちら▶



TOPICS
04

令和4年度総合GPA優秀者表彰

令和5年3月18日、「中村ハル育英奨学基金規程」による令和4年度総合GPA優秀者に表彰状と純金製のメダルを配した盾が贈られました。

優秀者

短期大学部

キャリア開発学科

末廣 遥

教育学部

児童幼児教育学科

城 克紀

栄養科学部

栄養科学科

堀尾 真鈴

流通科学部

流通科学科

藤戸 遥加

※GPAとは、Grade Point Averageの略です。GPは、学生が履修した科目の成績評価に応じて、秀(4点)、優(3点)、良(2点)、可(1点)、不可・不認定(0点)としています。総合GPAとは、学生が在学中に履修した科目それぞれのGPに、その科目の単位数を乗じて得た値の合計を、全履修登録科目の合計単位数で除して得た値のことです。この数値で、1単位当たりどれだけ高い学習効果をあげたかが評価できます。

TOPICS
05

令和4年度各協会表彰

令和5年3月18日、各協会による表彰者に表彰状が授与されました。これらは、免許資格取得者(栄養士・保育士・フードスペシャリスト)のうち特に優秀な成績で卒業する学生を各協会が表彰するものです。

全国栄養士
養成施設
協会会長
表彰者

栄養科学部

栄養科学科

吉田 ほのか

短期大学部

食物栄養学科

福村 藍子

全国保育士
養成協議会
会長
表彰者

教育学部

児童幼児教育学科

紀 実花

短期大学部

幼児保育学科

浜崎 真純

日本フード
スペシャリスト
協会会長
表彰者

栄養科学部

フード・マネジメント学科

藤原 巳佳

短期大学部

食物栄養学科

松尾 和音

TOPICS
06サービス接遇実務技能検定
優秀賞(団体・個人)を受賞

2023年3月、短期大学部キャリア開発学科は、公益財団法人実務技能検定協会より「サービス接遇実務検定」において成績優秀な団体に贈られる「団体優秀賞」を受賞しました。個人の部ではキャリア開発学科の学生が、「優秀賞」を受賞し、久保学長から表彰状が授与されました。

団体
優秀賞

中村学園大学・中村学園大学短期大学部

キャリア開発学科の学生12名
準1級合格キャリア開発学科の学生38名
準1級ロープレイング合格

優秀賞

キャリア開発学科
(2023年3月卒業)

落合 玲奈

サービス接遇実務技能
検定準1級合格TOPICS
01第37回(令和4年度)
管理栄養士国家試験合格状況

令和5年3月24日、第37回管理栄養士国家試験の合否結果が発表されました。本学では、令和4年度栄養科学部栄養科学科卒業生228名が受験し、205名が合格しました。全国の管理栄養士養成施設において、全国第2位、西日本第1位という高いレベルの合格状況です。

□学校区別合格状況

	受験者数	合格者数	合格率
本学	228名	205名	89.9%
管理栄養士養成課程(新卒)	9,444名	8,235名	87.2%
管理栄養士養成課程(既卒)	1,372名	136名	9.9%
栄養士養成課程(既卒)	5,535名	883名	16.0%
全国	16,351名	9,254名	56.6%

TOPICS
02フード・マネジメント学科
～2022年度食品関連資格 取得状況～

フード・マネジメント学科では、食産業界への就職活動において強みとなる、食品関連の資格取得を強力にサポートしています。

2022年度は、HACCP管理者資格、食品表示検定、フードスペシャリスト資格認定試験において、下記のとおり資格を取得いたしました。

HACCP管理者資格	91名認定
食品表示診断士	初級46名合格
	中級18名合格
フードスペシャリスト資格	96名合格
専門フードスペシャリスト資格 (食品流通・サービス)	5名合格

TOPICS
03令和4年度 中村学園大学同窓会
奨学金奨学生証交付式

令和5年3月18日、令和4年度中村学園大学同窓会奨学金奨学生証交付式が行われました。

この奨学金制度は、中村学園大学の学生のリーダー的人材育成のため勉学奨励並びにスポーツ・文化活動の向上に資することを目的とするもので、令和4年度は学生4名が奨学生に選ばれました。

●リーダー的人材育成のための勉学奨励の目的に基づく奨学金
教育学部 児童幼児教育学科 山尾 未来

●リーダー的人材育成のためのスポーツ・文化活動の向上の目的に基づく奨学金
(個人)

流通科学部 流通科学科 西守 郁香

流通科学部 流通科学科 和田 ほのか

(団体)

栄養科学部 フード・マネジメント学科 松隈ゼミ 吉村 亜衣留
(中村食育フードサイクリングのコンポスト活動、福岡市一人一花運動・福岡県環境教育学会参加)

受賞

吉川 昌子教授(教育学部)が 全国保育士養成協議会会長表彰を受賞

2023年2月、吉川 昌子教授(教育学部)が、一般社団法人 全国保育士養成協議会会長表彰を受け、2月8日、久保 千春学長より表彰状が手渡されました。この表彰は、永年にわたり保育士養成施設において教育に尽力され、多大な貢献をされた教員に対して贈られるものです。



受賞

伊藤 和枝名誉教授が 日本病態栄養学会功労賞を受賞

伊藤 和枝名誉教授(元 栄養科学部教授)が、2023年1月に開催された第26回日本病態栄養学会学術集会において功労賞を受賞されました。

この表彰は、当学会の発展、病態栄養学の進歩ならびに病態栄養学に関する啓発、福祉に著しく貢献した者に対し表彰されるものです。伊藤和枝先生は、栄養学の研究、特に高血圧と食塩の関連についての研究に取り組んでこられ、日本病態栄養学会立ち上げ前の研究会の時代から会の発展に貢献してこられました。現役を引退した現在においても学会に参加されており、学会発展への寄与に対する受賞となりました。

TOPICS
07

最終講義 ～流通科学部 山田 啓一特任教授～

2023年2月9日(木)、本学4号館にて、山田 啓一特任教授の最終講義「中村学園大学での研究活動を振り返って」が行われ、多くの教職員、学生らが聴講しました。

山田教授は、本学の流通科学部設立の2000年より23年間、本学での研究活動、学生指導に尽力され、2022年に本学の名誉教授の称号も授与されています。

講義では、意欲的に取り組まれた研究活動の軌跡を、多くの著書の紹介とともにお話いただきました。本学教員として勤務しながら書き上げられた博士論文、貧困問題をテーマにしたフィリピンでの研究活動、地域デザイン研究など、いずれも事例研究、現場調査を重視され、現場の声に耳を傾けながら「課題を追求し、解決策を提案する」という山田教授の研究に対する姿勢がうかがえました。

講義の最後に、山田教授は、これまでの研究活動を振り返り、「研究活動で一番大切なのは、人との出会い。多くの方々の様々な支援のおかげで研究を行うことができました」と謝辞を述べられました。

講義終了後、代表の教員から花束を贈り、会場では感謝の拍手が送られました。

TOPICS
08

令和4年度 ベストティーチャー賞表彰

令和5年3月30日、令和4年度ベストティーチャー賞の表彰式が行われました。

本学では、教員の意欲向上と授業改善の活性化を図ることを目的として、教育内容・方法の改善に取り組み、教育実践に顕著な成果をあげた教員を「ベストティーチャー賞」またFD推進に大きく寄与した取組を「FD推進部門(ベストティーチャー特別賞)」として表彰しています。

令和4年度は、学内の選考委員会が、毎学期に行う学生による授業についてのアンケートの結果を参考に総合的に評価し、大学各学部から1名ずつ、短期大学部から1名の専任教員を選出しました。またベストティーチャー特別賞に教員1名を選出しました。受賞者には久保学長より表彰状及び金一封が授与されました。

ベスト
ティーチャー
賞

栄養科学部

株田 文博 教授

教育学部

野口 太輔 講師

流通科学部

土井 貴之 講師

短期大学部

四童子 裕 助教

FD推進部門

ベスト
ティーチャー
特別賞

食物栄養学科

仁後 亮介 講師



春のオープンキャンパスを 開催しました

2023年3月12日(日)、春のオープンキャンパスでは在学生のスタッフが、各地からお越しいただいた高校生と保護者の皆様をお迎えしました。

授業体験、各学科の学びがわかる展示コーナー、入試、就職、留学や奨学金等に関する個別相談、食育館でのランチ体験、寮見学など多数のプログラムを実施しました。各学科教員と学生による授業体験では、ご参加いただいた皆様と在学生が交流している様子が多くみられました。

ご参加いただいた皆様、ご来場誠にありがとうございました。



CLOSE
UP!

学生の実践的な学びを支援する「Nプロジェクト」

「Nプロジェクト」とは、地域の皆様との交流活動を目的に、学生が主体性をもって企画から実施、運営を行う活動に対して、大学が活動費(最大5万円)を支援する制度です。

2016年度からこれまでに、ゼミ、サークル、有志のメンバーによって、近隣地区の子どもを対象にした取り組みや地域の方々と連携したSDGsの取り組みなど、個性に富んだプロジェクトが20件近く実現しています。いずれのプロジェクトも、学生たちにとって地域社会への貢献、そして大学での学びの実践の場となっています。コロナ禍では活動が制限され、オンラインで実施となったプロジェクトもありましたが、2022年度は、5件のプロジェクトが対面で実施されました。学生レポートの一部を抜粋して紹介します。



子育て支援イベント

「親子でほっとひといき! ほっとけーきひろば」

2022年10月27日(木)、11月23日(水・祝)

本学初の子育て支援団体「ほっとけーき」は、教育学部3年次の開講される「児童福祉各論」の授業で子育て支援を学んだ学生が、地域の子育て家庭への支援を広げたいという思いから、2022年度4月に有志を募って立ち上げた団体です。

Nプロジェクトでの活動では、未就学児のご家庭を対象に保護者の方の休憩・談話スペースと、お子様が自由に遊べるキッズスペースの2つに仕切って学生がお子様と遊んでいる間に保護者の方にゆったりとお過ごしいただくイベントを開催しました。

開催にあたり、企画から会場確保・広報活動などの学内外での交渉、当日の運営をゼロから自分たちで行うことは大変でしたが、その分学びも多く、保護者の皆さまからたくさんのお言葉をいただきました。

この活動が地域の子育て家庭への支援を広げるきっかけとなれば嬉しいです。



教育学部(2023年3月卒業)
松永 実桜

オペレッタ「人魚姫」上演

2022年12月18日(日)

幼児保育学科の永瀬ゼミは福岡市早良区にある有住公民館、福岡市東区にある児童養護施設福岡育児院において、オペレッタ「人魚姫」を行いました。

台本係、ダンス係、小道具係など役割を分担し、全員で協力して、自分達を楽しみながら、子どもたちを笑顔にすることを目標に、一からオペレッタを製作しました。今回は初めて児童養護施設で公演をさせていただき、様々な年齢の子どもたちにオペレッタを観てもらうことができて非常に良い経験となりました。

当日は非常に緊張しましたが、公演中に笑い声が聞こえ、公演後に「面白かった」「楽しかった」という感想を聞くことができて大変嬉しく思いました。子どもたちが寒い中、私たちが見えなくなるまで手を振って見送ってくれたこと、後日心のこもった手作りカードを送ってくださったことに感動しました。「来年もぜひ来てください」との温かい言葉をいただき、後輩にも続けて欲しいと思っています。今回の人前に立つ経験を通して、将来保育士、幼稚園教諭になるという自覚と自信、そして頑張ろうという気持ちに繋がりました。



幼児保育学科(2023年3月卒業)
青井 七海 押領司 亜美

SDGs住み続けられる街づくりを目指した
環境保全活動の実施

2022年10月～12月

キャリア開発学科の岩田ゼミ2年生(実施時)が、SDGsの目標の1つである「住み続けられるまちづくり」達成を目的に、福岡市中央区桜坂にある桜坂南公園にて古くなったベンチの塗り替え、メモリーツリーの植樹、花壇づくりの3つの取り組みを行いました。実施にあたっては、福岡市植物園の職員の方や桜坂里山会の方々にアドバイスをいただきました。

この活動は今後はゼミの後輩たちが引継ぎ、新たなアイデアを加えながら、地域社会への貢献を続けていく予定です。メモリーツリーの成長を、学生と地域の方々とで共に見守っていくことが私たちを繋ぐひとつの架け橋になることを願っています。

キャリア開発学科(2023年3月卒業)
波多江 佳奈



「わくわく♪あそびひろば!」の開催

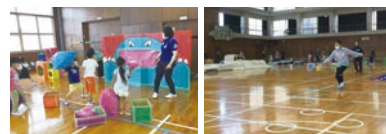
2022年7月16日(土)～投げる動作～

2022年12月3日(土)～“走る”を楽しむあそび～

教育学部の西田ゼミ3年生(実施時)による近隣の小学生、年長児とそのきょうだいを対象とした遊びのイベントを、2022年7月、12月の2回実施し、各回約30名の子どもたちが参加しました。

それぞれ「投げる」、「走る」動作に特化した遊びを、子どもたちの心身の健康につながるように工夫して企画しました。子ども達はそれぞれの遊びに夢中になって楽しんでおり、普段は経験できないこともたちとの貴重な関わりを、今後の研究活動にいかしていきたいです。

教育学部4年
藤井 夕陽



「親子で手形アートバッグ作り!」

2022年11月11日(金)

教育学部の野中ゼミ4年生(実施時)が0歳児から2歳児のお子様とその保護者の方を招き、「親子で手形アートバッグ作り!」を開催しました。

参加者は、無地のトートバッグに絵の具で手形をつけて、思い思いに制作を楽しまれました。保護者同士の関わりも見られ、地域の繋がりを深めるきっかけになったのではないかと思います。ご参加いただいた皆様にとって、制作を通じた親子での思い出作りの時間となっていれば嬉しく思います。また、私たち学生にとっては継続的に子育て支援を中心とした場を設けていきたいと感じる一日となりました。今回での学びをしっかりと後輩に繋げていきます。

教育学部(2023年3月卒業)
松永 実桜 陣内 桜

ナカムラの
社会連携のニュースはこちら



教職員の動き

◆ 採用人事(令和5年4月1日付)

特命任用教員(教授)(大学・流通科学部) 鶴崎 清貴
教授(短大・幼児保育学科) 川俣 美砂子
准教授(大学・栄養科学科) 山本 貴博
准教授(大学・流通科学部) 草野 泰宏
講師(大学・教育学部) 恒賀 康太郎
講師(短大・食物栄養学科) 宮原 葉子
講師(短大・食物栄養学科) 脇本 麗
常勤助手(大学・栄養科学科) 吉田 ほのか

常勤助手(大学・栄養科学科) 馬場 朝美
常勤助手(大学・栄養科学科) 古園 千遥
常勤助手(大学・栄養科学科) 山上 知夏
常勤助手(大学・フード・マネジメント学科) 江口 礼佳
常勤助手(大学・フード・マネジメント学科) 圖師 彩乃
常勤助手(短大・キャリア開発学科) 堀内 ひかり
法人本部総務部課員 柚須 愛海
教務部課員 牛島 愛結

学生部課員 中村 隼人
入試広報部課員 岩崎 映美
総務部労務職員 山下 広
あさひ幼稚園常勤講師 古賀 萌子
あさひ幼稚園常勤講師 脇山 愛加
吉岐幼稚園常勤講師 後藤 紗希
吉岐幼稚園常勤講師 吉川 寛子
(令和5年1月1日付)
法人本部財務部課員 鈴木 良治

◆ 令和5年度 役職者

学長(大学・短期大学部) 久保 千春
学長補佐(大学・短期大学部) 三成 由美
大学院栄養科学研究科長 加藤 正樹
大学院教育学研究科長 笠原 正洋
大学院流通科学研究科長 浅岡 由美
栄養科学部長 今井 克己

栄養科学科主任 河手 久弥
フード・マネジメント学科主任 池上 徹
栄養科学部学部長補佐 末武 勲
教育学部長 中野 裕史
教育学部学部長補佐 那須 信樹
教育学部学部長補佐 岡田 充弘

流通科学部長 日野 修造
流通科学部学部長補佐 西島 博樹
流通科学部学部長補佐 橋本 敦夫
短期大学部長 岩田 京子
食物栄養学科主任 森脇 千夏
キャリア開発学科主任 岸川 公紀

幼児保育学科主任 宮坂 明
薬膳科学研究所長 徳井 教孝
流通科学研究所長 前田 卓雄
発達支援センター長 藤瀬 教也
大学付属あさひ幼稚園園長 野中 千都
大学付属吉岐幼稚園園長 山田 朋子

◆ 退職人事(令和5年3月31日付)

准教授(大学) 渡邊 啓子
教授(大学) 吹氣 弘高
教授(短大) 阿部 志磨子
教授(短大) 三堂 徳孝
教授(短大) 増田 隆
講師(大学) 早瀬 沙織

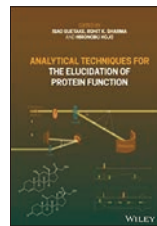
講師(短大) 井上 智史
講師(短大) 櫻井 裕介
助手(大学) 安藤 優加
助手(大学) 鬼木 愛子
助手(大学) 新原 千央
助手(大学) 森 美紀

常勤助手(大学) 江浦 了香
法人本部財務部主任推進役 坂井 洋隆
法人本部財務部推進役 角野 毅
法人本部財務部課員 奥村 和弘
法人本部経営企画室 山村 祐衣
法人本部総務部労務職員 森藤 泰秀

教諭(あさひ幼稚園) 和田 ひかり
教諭(吉岐幼稚園) 林 希
教諭(吉岐幼稚園) 井上 歩美
(令和5年2月28日付)
学生部課員 美崎 将吾



1



2



3



4



5



6

- 1 DNA Methyltransferases -Role and Function
末武 勲 栄養科学科 教授 共著
(2022年11月 Springer Nature)
- 2 Analytical Techniques for the Elucidation of Protein Function
末武 勲 栄養科学科 教授 編著(2023年1月 Wiley)
- 3 子どもの発達からみる「10の姿」の保育実践
那須 信樹 児童幼児教育学科 教授 共著
(2023年1月 ぎょうせい)
- 4 保育者のためのキャリア形成マネジメントブック
手応えを実感できる組織的な保育力の向上を目指して
那須 信樹 児童幼児教育学科 教授 編著
(2023年2月 みらい)
- 5 学校と教育委員会・自治体をつなぐ教育DX推進ガイド
山本 朋弘 児童幼児教育学科 教授 編著
(2023年1月 明治図書)
- 6 経営効率性の測定の基礎
DEA分析の事例で学ぶ生産性・効率性向上への挑戦
橋本 敦夫 流通科学科 教授 共著
(2022年11月 日本評論社)

著者は本学教員のみ記載

外部資金等の受入状況

◆ 受託研究

研究担当者	徳井 教孝(薬膳科学研究所 所長)
	三成 由美(薬膳科学研究所 研究員)
研究課題名	SDGsに対応した佐賀県玄海町における日本型薬膳のレシピ作り～玄海町ならではの美味しくてヘルシーなプラントベースフードの開発～
発注先	玄海町みんなの地域商社
研究期間	2022年12月1日～2023年6月20日
研究経費	990,000円

研究担当者	近江 雅代(栄養科学科 教授)
研究課題名	肝疾患の治療食レシピの考案及び作成
発注先	一般財団法人肝疾患研究会
研究期間	2023年4月1日～2024年3月31日
研究経費	385,000円

◆ その他

事業担当者	契約形態 受託事業 森脇 千夏(食物栄養学科 教授) ほか同学科教員、学生
事業課題名	グルテンフリーの雑穀を使ったレシピ開発
発注先	株式会社ビッグコマース
事業期間	2023年3月1日～2023年5月31日
事業経費	55,000円

◆ 研究助成

研究担当者	川野 光興(栄養科学科 准教授)
研究課題名	ファージを用いた生鮮食品由来薬剤耐性菌の殺菌法開発
研究助成所管団体	公益財団法人江頭ホスピタリティ事業振興財団
事業名	令和5年度研究開発助成事業
交付金額	800,000円

ナカムラ のひと

経験値をあげながら
スキルアップに励んでいる
人たちをご紹介します！

今回は

キャリア開発学科
「フィールドワーク」
プレイパークチームの人たち

左から小林遥樹さん、熊谷莉央さん、石川弥咲さん、杉本佳奈美さん、伊藤早那子さん

地域に貢献しながら社会人に必要なスキルを

「フィールドワーク」はキャリア開発学科の科目で、地域（NPO法人、行政など）と連携したさまざまな活動を通し、ビジネススキルを身に付けることを目的としています。活動の一つ「プレイパーク」は、子どもたちの主に公園での外遊びの機会を増やし、地域の交流の場を作ることを目指した取り組み。学生が主体的に遊びの企画、段取り、スケジュール管理といった実務を経験する中で、柔軟な発想力、チーム作業のノウハウ、言葉遣いなどのビジネスマナー、異世代の方とのコミュニケーション力などを修得しています。



リーダーの
3名



竹にパン生地を巻いて焚き火で焼く「竹パン」は、子どもたちに大人気（プレイパークin鳥飼公園）



夏場には角材とビニールシートを使って作ったミニプールやヨーヨー釣りなどの遊びを企画。（プレイパークin西町公園）

チームのリーダーたちにインタビュー！

石川 弥咲 さん

キャリア開発学科2023年3月卒業 宇都中央高等学校出身

チームにおける「報連相」の 大切さを学びました。

初のプレイパーク開催では、要領もよく掴めないまま、メンバー5人でチラシ作りや竹パン作りに使う竹の調達、遊びの材料集めなどに奔走した思い出があります。この時に痛感したのがチームで動く際における「報連相」の大切さ。反省を活かしながら回を重ね、スムーズに事が運ぶようになりました。

後輩が入ってきて責任が増す中、いっそうリーダーシップを発揮できるようになったとも思います。活動を通し人間的に成長できました。

伊藤 早那子 さん

キャリア開発学科2年 嘉穂高等学校出身

この活動を通して 自発的に行動する人に。

何か新たなことに挑戦しないと受け身のままの自分で大学生活が終わってしまうと感じ、プレイパーク活動に参加し、リーダーを志願しました。

先輩や先生、地域の方々に支えられつつ必死でかじ取り役を果たし、プレイパーク開催をやり遂げた達成感は想像以上に大きかったです。活動を通じ自発的な自分に変わることができたとも感じました。地域の役に立つ仕事に就きたいという目標もみつきり、ますますモチベーションが上がっています。

熊谷 莉央 さん

キャリア開発学科2年 いわき光洋高等学校出身

企画・運営を通して 多くのスキルを身に付けました。

地域の方たちと接する中での敬語の使い方や相手へ配慮、チーム作業における細やかな情報共有の徹底。プレイパークの企画・運営に取り組み、座学では得られない多くのスキルが身に付いたと感じています。

リーダーとして効率的な段取りを考え、常に先を読んで行動しました。リーダーが率先して動かないと何も始まらないという気づきもありました。就職活動では胸を張ってこの活動のことをアピールできと思っています。

キャリア開発学科
藤島 淑恵 准教授



プレイパークの取り組みは2022年から始まりました。学生の成長が目的ですが、就活で必須の「ガクチカ」（学生時代に力を入れたこと）づくりになるという側面も。自分達が主体的に考えて行動し、やり遂げた成功体験は、効果的なアピールになるはずです。これからもこの活動を継続し多くの学生の糧となれと思っています。

すべての 学びは、 一生もの。

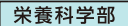
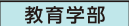
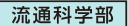
NAKAMURA OPEN CAMPUS

2023.
8.5 SAT — 6 SUN

時間の詳細は決まり次第、
本学HPでお知らせいたします。

夏のオープンキャンパス以外にも、入試イベントを開催予定！
入試に関する情報は受験生サイトをご確認ください。



中村学園大学  栄養科学部 | 栄養科学科 | フード・マネジメント学科 |  教育学部 | 児童幼児教育学科 |  流通科学部 | 流通科学科
中村学園大学短期大学部 | 食物栄養学科 | キャリア開発学科 | 幼児保育学科



[編集] 中村学園大学・中村学園大学短期大学部 入試広報部
[発行日] 令和5年4月26日
〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1 TEL 092-851-2531
[ホームページ] <https://www.nakamura-u.ac.jp/>

公式ホームページ



公式facebook



ナカムのひと
中面をチェック！